

青い波北陽台

令和6年6月28日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 大川周一

「Cの組み合わせ」

教頭 副島 俊彦

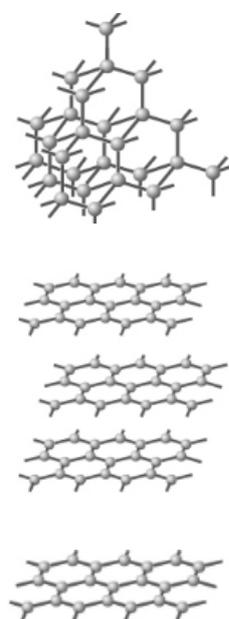
6月は行事が多く生徒の皆さんの頑張る姿をよく目にすることができました。県高総体の開会式には長崎地区が主会場となるバスケットボール部と剣道部が本校代表として参加し、爽やかで美しい行進を披露してくれました。また、各試合会場では選手、サポートする仲間、役割で大会に参加している人たちがそれぞれ自分でできることを考えて行動している姿が見られ、とても頼もしく感じました。

さて令和6年6月号が初執筆となる私は専門科目の化学 Chemistry に関連させて原子番号6の炭素 Carbon について書きます。黒鉛やダイヤモンドなどの炭素の同素体(同じ元素からできる性質の異なる単体どうし)を学ぶと、全く同じ原子からできているのに結合のしかたと全体の構造の違いによって性質が大きく異なることがわかり、「構造と性質の関連性」がいかに大事かわかります。一般的には天然ダイヤモンドの方が希少なため高価ですが、物質の価値は常にダイヤモンド>黒鉛ではありません。どのような用途で用いるのか、どのような性質を必要とするかにより変わります。別の言い方をすれば、ある物事を活かしたり、価値を高めるには、活用できる環境を作ることが大事とも言えます。つまり、私たちの発想力と行動力によるところが大きいです。

例えば黒鉛の構造や性質の基になっている単層の平面正六角形構造であるグラフェンは2004年に粘着テープを用いて黒鉛から剥がしとることができるようになり研究が急激に進みました。このグラフェンは、極めて薄い膜で強度が高く透明性や電気伝導性も高いので、非常に注目されており集積回路や各種センサーへの応用が進められています。ある意味、粘着テープを用いた発想力と行動力が、身近にある黒鉛の一部の構造を世界を変える可能性のある物質に価値を変えたのです。

この内容は合唱コンクール Chorus Competition の講評で田代先生が話された、「声量のバランスや並び方で合唱が聴衆にどのように聞こえるかが変わる。メリットもデメリットも変わる。そのあたりも考えて取り組めば更によく。」という話にも通じると思いました。本校には、今後も多彩な行事や取組があります。今回の経験で学んだことを次の機会に活かし、積極的に挑戦することで発想力や行動力を高めていきましょう。今後の皆さんの行動に期待しています。

最後に、45回生は昨年「4C」をスローガンに活動しています(4月号参照)が、皆さんが今の状況で意識しておきたい単語は何ですか? 私が大学の研究室に在籍していた頃は、「Create 創造する、Combine 組み合わせる、Concentrate 集中する、Continue 継続する」を意識して行動していました。また教師になってからは次第に「Cultivate 耕す・育む」の意識が強くなっています。同じ人でも、その時の環境や心境により変わるのが面白いです。ぜひ、皆さんも周囲と意見交換してみてください。多様な言葉に出会って考えの幅が広がると思いますよ。そして自分なりの「4C」を組み合わせ行動していけば「幸せ」な未来に近づくかもしれません。これからも互いに長崎北陽台高校での生活を楽しみながら、「もしも△△△していたなら…」と後悔するのではなく、「もしも〇〇〇できたなら…」と未来の可能性を夢見て進んでいきましょう!



＜令和6年度 長崎県高等学校総合体育大会 結果＞

各地で熱戦が繰り広げられました!応援ありがとうございました!

部名	結果						
バレーボール ＜男子＞	1回戦	対	小浜・西陵	0対2	負		
バレーボール ＜女子＞	1回戦	対	島原農業	0対2	負		
サッカー	1回戦	対	諫早	2対1	勝		
	2回戦	対	佐世保高専	6対0	勝	ベスト16	
	3回戦	対	佐世保実業	0対1	負		
バスケットボール ＜男子＞	1回戦	対	佐世保南	87対50	勝		
	2回戦	対	向陽	125対50	勝	ベスト16	
	3回戦	対	長崎西	87対74	負		
バスケットボール ＜女子＞	2回戦	対	九州文化	142対27	勝		
	3回戦	対	長崎北	88対71	勝	ベスト8	
	4回戦	対	島原中央	62対83	負		
ハンドボール	1回戦	対	長崎南	26対22	勝		
	2回戦	対	長崎工業	13対22	負	ベスト8	
ラグビー	準々決勝	対	海星	132対0	勝		
	準決勝	対	南山	75対0	勝	優勝(2年ぶり21回目) 九州大会出場	
	決勝	対	長崎北	47対5	勝		
登山＜男女＞	男子	優勝(19大会連続35回目)			女子	優勝(6大会連続25回目)	
男女とも九州大会・インターハイ出場							
バドミントン ＜男子＞	【団体】					【個人】	
	2回戦	対	長崎日大	3対2	勝	○シングルス 3回戦敗退 1名 1回戦敗退 2名	
	3回戦	対	佐世保工業	1対3	負	○ダブルス 2回戦敗退 3組	
バドミントン ＜女子＞	【団体】					【個人】	
	1回戦	対	創成館	3対0	勝	○シングルス 2回戦敗退 3名	
	2回戦	対	瓊浦	0対3	負	○ダブルス ベスト16 2回戦敗退 ベスト16 1回戦敗退 1組	
陸上 ＜男女＞	【男子】						
	200m	朝倉	4位	5000mW	中村	5位	
	【女子】						
	400m	永田	4位	5000mW	楠本	3位	やり投げ 山下 6位
	4×400m	黒瀬	小池	執行	永田	6位	
	4×100m	黒瀬	執行	小池	永田	5位	北九州大会出場
卓球＜男子＞	【団体戦】					【個人】	
	2回戦	対	大村	3対0	勝	○シングルス 1回戦敗退 1名 2回戦敗退 3名	
	3回戦	対	島原中央	3対0	勝	3回戦敗退 1名 4回戦敗退 2名 ベスト8 1名(松永) インターハイ出場	
	準々決勝	対	諫早	2対3	負	○ダブルス 3回戦敗退 1組 4回戦敗退 2組	
ベスト8					ベスト16		

部名	結果							
卓球<女子>	【団体戦】					【個人】		
	1回戦	対	松浦	3対0	勝	○シングルス	3回戦敗退 3名	4回戦敗退 3名
	2回戦	対	佐世保南	3対0	勝	○ダブルス	2回戦敗退 1組	
	準々決勝	対	長崎東	2対3	負	3回戦敗退 1組		
						4回戦敗退 1組		ベスト16
								ベスト8
テニス<男子>	【団体戦】					【個人】		
	1回戦	対	大村工業	3対0	勝	○シングルス	2回戦敗退 1名	3回戦敗退 3名
	準々決勝	対	長崎西	2対0	勝	4回戦敗退 1名		ベスト16
	準決勝	対	長崎東	0対2	負	2回戦敗退 2組		3回戦敗退 1組
								ベスト4
テニス<女子>	2回戦	対	佐世保北	3対0	勝	【個人】		
	準決勝	対	海星	2対0	勝	○シングルス	3回戦敗退 3名	4回戦敗退 1名
	決勝	対	長崎東	0対2	負	準々決勝敗退 1名		ベスト8
						準決勝敗退 1名 (中村)		九州大会出場
						○ダブルス	3回戦敗退 1組	4回戦敗退 2組
						準決勝敗退 1組		3位 ベスト8
剣道<男子>	【団体】					【個人】		
	予選リーグ					1回戦敗退 3名		2回戦敗退 1名
	対		瓊浦	0対5	負			
	対		青雲	3対2	勝			
	対		鹿町工業	0対4	負			
								予選リーグ 敗退
剣道<女子>	【団体】					【個人】		
	対		壱岐	4対0	勝	予選リーグ	1回戦敗退 3名	2回戦敗退 1名
	対		五島	0対1	負	敗退		
弓道<男子>	予選1立目	20射11中	予選2立目	20射14中	予選3立目	20射中12中	全体2位	決勝リーグ進出
	決勝リーグ	5勝1敗	準優勝	九州大会、インターハイ出場				
弓道<女子>	予選1立目	20射7中	予選2立目	20射12中	予選3立目	20射中11中	全体2位	決勝リーグ進出
	決勝リーグ	3勝3敗	4位					
水泳	200m背泳ぎ(女子)	予選敗退	200mバタフライ(男子)	予選敗退				
	200mバタフライ(女子)	決勝3位	松田	九州大会出場				
	100m背泳ぎ(女子)	予選敗退	100mバタフライ(女子)	予選敗退	100mバタフライ(男子)	予選敗退		
ヨット	男子	シングルハンダー級	優勝(松原)	九州大会出場	男子団体	第3位		
	女子	シングルハンダー級	優勝(久松)	九州大会出場	女子団体	第2位		
なぎなた	予選リーグ	敗退						
新体操	個人総合10位							
体操	個人総合10位	星加	九州大会出場					

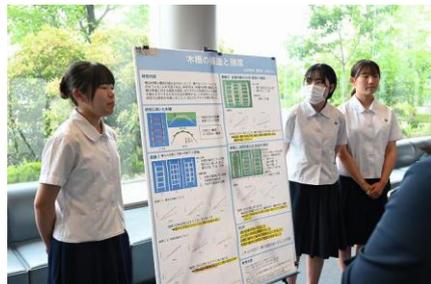
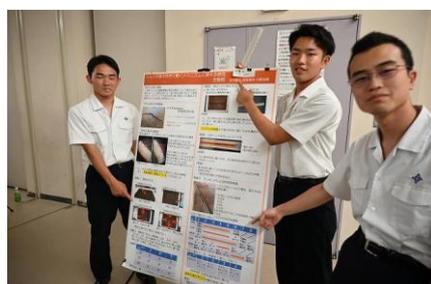
<第18回 長崎県理数科高等学校課題研究発表大会>

6月6日(木)、シーハットおおむらさくらホールにて第18回長崎県理数科高等学校課題研究発表大会が開催されました。

本校からは生物班「ヨメガカサガイの避暑行動に関する研究～暑い日には風通しをよくするべき～」、生物班「ウノアシガイの「隠蔽擬態」に関する研究～白模様に隠された秘密～」の2班が口頭発表で出場しました。

審査の結果、ウノアシガイの「隠蔽擬態」に関する研究班は最優秀賞を受賞し、県の代表として8月に島根県で行われる中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会へ口頭発表で出場することになります。また、ヨメガカサガイの避暑行動に関する研究班もポスター発表で同大会に出場します。

他の9班が出場していたポスター部門では、6班がポスター賞を受賞しました。

口頭発表		ポスター部門 (発表の様子)
<p>ウノアシガイの「隠蔽擬態」に関する研究</p>   <p>表彰式 (口頭発表 最優秀賞)</p>	<p>ヨメガカサガイの避暑行動に関する研究</p>  	 

<文理探究科「国際探究」交流会>

6月6日(木)、シーハット大村さくらホールにて文理探究科国際探究一期生(2年生)の交流会が開かれました。

県内5校(島原・大村・猶興館・佐世保南・長崎北陽台)から集まった生徒たち132名が、アイスブレイクで各校混合のグループに分かれて活動しました。

前半は、「探究って何だろう」というテーマで島原高校の松永先生の指導のもと、国際探究入門講座を受けました。各班をそれぞれ一つの町だと仮定し、その町に、ある外国人が移住してきた場合に起こりうる課題と解決策を話し合う、というものでした。各班に年齢、性別、出身国、日本滞在期間などの情報が与えられ、より具体的に場面を想像して課題に取り組むことができる工夫が施されており、生徒たちはとても熱心にマッピングをしながら意見を交わしていました。最後に班同士で発表し合いましたが、一人ひとりに役割があり、きちんと自分の意見を述べる様子は、短時間の取組とはいえ彼らの成長を感じることができた一幕でした。この活動により、探究力とは行動力であり、行動することで発想やアイデアにつながるのだということ学ぶことができました。

後半は、JICA デスク長崎国際協力推進員の小田様のご指導で、国際探究研修が行われました。「将来外国で働きたいか?」や「途上国と聞いて思い浮かぶこと」などといった問いに答えながら、グループで活動しました。青年海外協力隊としてパラグアイで2年間過ごした経験を踏まえ、生徒たちに(1)自分の「あたりまえ」を疑ってみることの大切さ、(2)価値観の違いを受け入れた上で、互いに理解し合おうとする努力をすることの大切さ、(3)気持ちを言葉にして伝え合うこと大切さ、についての語りに、皆、引き込まれました。最後は、「NASA GAME(月面からの脱出)」という、お互いの意見を尊重しつつ、グループで一つの解決策を決定していくというゲームを行い、どの班も真剣に語り合っていました。



今回の交流会で、学校の枠を超えた「文理探究科国際探究一期生」の横の繋がりが生まれました。1年後に彼らがどのような探究発表を披露してくれるのか、とても楽しみです。

<校内合唱コンクール>

6月12日(水)に第46回校内合唱コンクールが実施されました。各クラスが素敵なハーモニーで観客を魅了し、最優秀賞を1年7組、優秀賞を2年2組、2年6組、2年7組、3年8組が受賞しました。今年のコンクールには大きく4つの特徴があったように思います。

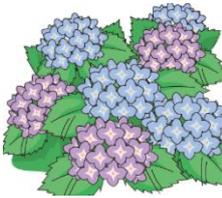
観客の耳に残りやすい歌の選曲

曲に合わせた指揮者の熱いパフォーマンス

終日鑑賞してくださった保護者の熱意

職員コーラスを盛り上げた生徒と保護者の声援

長崎北陽台高校を代表する行事であると改めて感じました。当日はたくさんのご来場ありがとうございました♪



<ネットコミュニケーション講演会>

6月13日(木)にネットコミュニケーション講演会を実施しました。LINE みらい財団、LINE オフィシャルインストラクターの柴田保文氏に「インターネットを使う時に気を付けること、考えること」と題して講演をいただきました。タイムマネジメントとクライシスマネジメントを中心に高校生にとって身近な問題を取り上げ、理解が深まるようにワークショップも取り入れながらご説明いただきました。生徒たちは、今までのスマートフォン等の使い方について振り返るとともに、今後の使い方についてしっかりと考えることができました。

【生徒の感想】

- 自分がスマホを使いすぎる原因をよく理解するきっかけになったし、自己管理の大切さや急なトラブルへの対処法も学ぶことができました。トラブルはできれば避けたいけど、もし起こってしまった時には今回学んだことをしっかり思い出して、対処していければと思います。
- 班の人やクラスの人と考えを共有して、自分にはなかった考えや自分の悪いところを客観的に見直すことができました。また、自分のリテラシーやタイムマネジメント能力が不足していることを自覚しました。今後は共有して深めた話題を実際に挑戦していこうと思います。



＜生徒会役員選挙＞

令和6年度生徒会役員選挙が6月20日（木）に実施され、学校の新しいリーダーが選出されました。今年の選挙には、会長3人、副会長に2人の立候補者がありました。各立候補者は公約や自分の熱い思いを生徒の皆さんに訴えました。結果は次のとおりです。新しい役員を中心に長崎北陽台高校を創造してください。

会長 藤田 一之助さん（2年7組）
副会長 平山 愛理さん（2年2組）
副会長 藏本 紗和さん（2年6組）

長崎北陽台高校では、実際の選挙を想定し、可能な限り実際の選挙と同じような形式で実施しています。この日は朝のSHRで自分の名前入りの投票所入場券を受け取ります。立会演説会后、学年ごとの投票所へ行き、受付をした後、投票所入場券を出し、投票用紙を受け取ります。そして会場で投票を行います。この際に使用する記載台と投票箱は長与町選挙管理委員会から借用した、実際の選挙で使用されるものです。18歳になったら実際の選挙で投票することを考え、この形式で実施しています。



【1学年より】

各クラスの歌声が体育館に響いた合唱コンクール。1年生としては初めてクラス全体で取り組む行事でしたが、皆さんの感想はいかがでしたか？先生方の中には、「今年は全体的にレベルが高かった」という感想を持たれた方もおられました。こうした感想が聞かれるということは、合唱コンクールを初めて経験する1年生も、きちんと練習に取り組み、本番もしっかりと歌えていたからではないでしょうか。

最初のクラス全体で取り組む行事であった合唱コンクールを成功させた1年生の今後にご期待ください。

さて、1学期定期試験が実施されました。中学校での定期試験とは違い、範囲は広く、内容も難しいと感じたのではないのでしょうか。高校の試験では計画的にまんべんなく学習することが要求されます。今回の定期試験の結果を受けて、今後の高校生としての学習習慣の確立に勤めましょう。ご家庭におかれましても、お子様の今後の試験への取り組みを気にかけていただくと助かります。今後とも46回生をよろしく願っています。

【2学年より】

「1学期定期試験終了 夏に向けて頑張れ45回生！」

2学年担当 西村 双葉

6月は高総体をはじめ、数多くの行事が行われた月でした。部活動では3年生が引退をし、新体制としてスタートした部活が多くあると思います。新しく部長や副部長に任命された生徒もいるのではないのでしょうか？45回生が各部活の最上級生として活躍し、来年の高総体では今年以上の結果を残すことができるよう、教員一同見守って参ります。

また、12日に行われた合唱コンクールでは、上位5クラスに2年生から3クラス（2年1、6、7組）が入賞しました。おめでとうございます！短い準備時間の中で自主的に練習を計画し、日ごろの授業では見られないような一面を見ることができ、とても実りの多い行事だったと思います。

最後になりますが、先日まで行われた1学期定期試験はどうだったでしょうか。2学年に進級し、文系理系とクラスが分かれたことで、昨年に比べ授業内容もより複雑化してきました。2学年最初の試験、よいスタートを切ることができるように、試験勉強にも熱が入っている様子が見られました。大学入試に向けスイッチが入った3年生に負けず、2学年も部活動に勉強に頑張ってください！

【3学年より】

～野球部・吹奏楽部 大会へ向けての主将メッセージ～

<野球部> 大石 将誠

私たちは、7月13日開幕の全国高等学校野球選手権大会長崎大会に出場します。3年生にとっては最後の大会となるので、まずは初戦を勝ち切り、おそらく勝ちあがってくる長崎日大に去年の先輩方のリベンジをしたいと思います。今まで支えてくださった保護者の方々や顧問の先生方への感謝の気持ちを忘れず、また期待に応えられるよう一球一球貪欲に一生懸命プレーします。

<吹奏楽部> 大島 美菜

私たち吹奏楽部は、九州大会出場を目標に顧問の田代先生のご指導のもと、日々練習に励んできました。本番では、日々私たちを支えてくださった先生方や保護者の方々、ハードな練習も一緒に乗り越えてきた仲間たちへの感謝の気持ちを忘れず、みんなと心をついに悔いの残らない演奏をします。応援よろしくをお願いします。

～3 学年進路講演会～

6月14日にベネッセコーポレーション顧問の田川祐治先生に「いよいよ勝負の年 覚悟を決め、執念・挑戦」というタイトルで講演をいただきました。

<講演を終えての生徒の感想(一部抜粋)>

- ・きつい時期でも楽しみながら学習することを大切にし、目標を高く持ち、周囲の人とも高め合いたいです。
- ・講演を聞き、自分が何をすればよいのか整理することができた。
- ・学習における「心・技・体」という言葉が印象に残りました。
- ・努力してもすぐに成績が上がるわけではないので、何度失敗してもくじけないメンタルを身に付けたい。
- ・勉強の一番の“敵”スマホとの関わり方を見直していこうと思いました。



○放課後自学(講座制)スタート

6月10日より、放課後自学(講座制)がスタートしました。今年度は、生徒が受講したい講座を改めて選択し受講する講座制を実施しています。1コマ70分の講座ですが、生徒たちは意欲的に取り組んでいるようです。今後も個に応じた学びの最適化を目指し、主体的に学ぶ力をさらに育ててまいります。また、今年度導入しました「スタディサプリ」もさらに活用してまいります。

○7月三者面談へ向けて

7月11日より三者面談を実施します。普通科では、総合的な探究の時間で進路探究を行い、自分の進路や将来について考える機会を設けました。三者面談へ向けて、ご家庭でも、進路について話題にしていただき、学校とともにサポートしていければと思います。

7月の主な行事予定

- 5日(金) 代休(7月6日分) 校外記述模試(全学年)
- 6日(土) 午前:金曜⑦①の授業 午後:オープンスクール
- 7日(日) 校外記述模試(3年)
- 8日(月) 午前:授業 午後:校内競技大会
- 9日(火) 校内競技大会
- 10日(木) 長崎外国語大学研修・国際探究講義(1年 文理探究科)
- 11日(木) 午前:授業 午後:演習等・三者面談(~18日)
- 19日(金) 午前:授業 午後:大掃除・終了式・LHR
- 22日(月) 授業日(~26日)
- 23日(火) 長崎外国語大学研修・留学生交流会
(1年 文理探究科 ~25日)
- 27日(土) 夏季校内学習会(3年)
- 29日(月) 自然科学講義・人文社会学講義(1・2年 文理探究科)
夏季校外学習会(3年 ~8月3日)
- 30日(火) 長崎大学医学部研修(2年 文理探究科・理数 ~31日)

